

令和2年度 第8回部長会議 会議記録（要旨）

開催日時：令和2年10月6日（火） 14時00分から14時50分まで

開催場所：A301・302 会議室

出席者：牧野市長、木下副市長、代田教育長、櫻井総務部長、塚平総合政策部長、細田リニア推進部長、米山リニア用地担当参事、松下市民協働環境部長、清水健康福祉部長、遠山産業経済部長、星野産業経済部参事、北沢建設部長、島崎建設部参事、土屋上下水道局長、宮内市立病院事務局長、田中危機管理室長、原会計管理者、吉川議会事務局長、今村教育次長、青木地域人育成担当参事、赤羽目消防長、塚平財政課副参事、原田秘書広報課長、田中企画課長

会議内容

1 理事者あいさつ

<市長>

新型コロナウイルス感染症への対策にそれぞれの立場で取り組んでいただいていることに感謝申し上げる。まだまだ先が見えない状況であるが、それに加えて10月以降はインフルエンザの対策も併せて行っていく必要がある。コロナとインフルエンザは症状が似ていると言われており、統計的に見るとピーク時には一日あたり100人以上の感染者が出るとも言われている。引き続き、手指消毒やマスクの着用など感染対策を徹底することが重要であると考えている。

この地域のコロナに対する検査体制は全国的に見ても太鼓判を押してもらえほどの整備がされており、関係する皆様のご尽力に改めて感謝申し上げます。そのうえで、引き続き検査体制の拡充を進めていけるよう医師会をはじめ関係機関の皆様と連携をとっていききたいと考えている。

経済対策については、年内は雇用調整助成金でつなげられたとしても、それ以降を見据えると予断を許さない状況である。有効求人倍率が1.00倍ということで改善がみられるが、決して景気が良くなっている状況ではなく、百年に一度の大不況に陥る可能性もあり、対応をしっかりと考えていかなければならない。

地域活動の再生に向けては、地域の運動会が中止になっている地区もあるが、形を変えながら工夫をして地区のつながりを保つ機会をつくられているところもあると聞いている。1月に行われる成人式は、県外に住んでいる成人の皆様にもバーチャルではなくリアルに参加していただける体制をとっていききたいと考えている。出席者も地域も安心して実施できるよう検査体制を整えていききたいと思う。検査費用については行政からの補助も検討していく必要があると考えている。

ICT教育についても関係の皆様のご尽力により、タブレット端末の整備を前倒して行い、10月1日から順次配られている。今後は休校になった場合でも先生と生徒がつながり、対応がしやすくなるのではないかと考えている。

これまでさまざまな対策を進めているが、動きを緩めることなく引き続きしっかりとご対応いただくようお願いしたい。

<副市長>

新型コロナウイルス感染症への対策ということで、さまざまな取組を進めている。これまでの政策については自信を持って取り組んできているところなので、惑わされることなく引き続き進めていただきたい。

また、11月に入れば来年度の当初予算編成を進めていく時期になるので、今のうちにしっかりと業務を進めていただくようお願いしたい。

<教育長>

市長からお話があったが、タブレット端末の整備を2年以上前倒して進めており、7,200台のタブレットが納品され、以前から活用しているものも含めて子どもたち8,000人に一人1台配備する環境が整った。全国の自治体の中でもこのような環境が整っているのは9月末時点で2%しかなく、飯田市がトップランナーとして教育施策を進める状況にあるのは大変ありがたいと感じている。関係の皆様のご尽力に改めて感謝申し上げます。

市内の学校の運動会については、大規模での実施は難しかったものの各校で工夫して実施した。中学校では子どもたちが密を作らない種目を考えるなど、生徒の皆様が主体的に考える場となった。また、修学旅行は県外に行けない状況の中で、今までは前年踏襲で決まっていたようなものを趣旨から考えるなど改めて見直す機会になったという報告を受けている。

各部署でも新型コロナウイルス感染症への対応で大変だと思うが、今までの見方を変える機会でもあると思うので、それぞれの立場で考えてみんなで話し合っただけ進めていただくようよろしくお願いいたします。

2 報告事項

(1) 公用車の事故状況及び事故防止対策等について（総務部）

◇趣 旨：7月～9月の公用車の事故状況について共有するとともに、事故ゼロチャレンジの取組、飲酒運転根絶に向けた全庁的対策の確認を行う。

◇論点・課題

- ・冬場を迎えるにあたっての注意事項について交通安全講話を実施し、各部署から代表して参加した者は講話内容を復命し、職場における交通安全意識の向上に努める。
- ・飲酒運転根絶のための全庁的な取組について、各課等での実施状況を確認するとともに改善点等の調査を行い、随時改善をしていく。
- ・車両を所有する課等においては、車検の有効期限及び原付の自賠責保険期間を確認し、適切に検査・更新を行うよう周知徹底を図る。

◇主な意見等

特になし

(2) 令和2年度まちづくり委員会と市長との懇談会の総括について（市民協働環境部）

◇趣 旨：6月22日から9月29日にかけて開催したまちづくり委員会と市長との懇談会の分野別概要等全体の総括を報告する。

◇論点・課題

- ・今年度は新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、開催の有無も含めて各地区の考えを尊重し、開催する場合には参加者をまちづくり委員会の役員等に絞った形で行った。
- ・参加した市民の皆さんからの発言内容について施策などに反映するとともに、当日持ち帰りとなった課題については速やかに対応をお願いしたい。

◇主な意見等

特になし

(3) シトラスリボンプロジェクトへの職員の取組について（市民協働環境部）

◇趣 旨：愛媛県から始まった「シトラスリボンプロジェクト」について、飯田市役所も一事業所として、リボンを作ること、着けることで意識を高め、全庁の取組として広げる。併せて市民の皆さんへの啓発も進めていく。

◇主な意見等

特になし

(4) 令和2年度地震総合防災訓練の反省について（危機管理室）

◇趣 旨：8月30日に実施した地震総合防災訓練について報告する。

◇論点・課題

- ・昨年度の反省を生かして、事前に全部局へのヒアリングを行う中で、訓練内容・方法等について聞き取り、アドバイスをを行った。
- ・各災害対応班が策定した災害対応計画については、来年度以降も継続してステップアップをしていくことが大切である。

◇主な意見等

(教育次長) 新たな試みをした姿勢はよかったと思うが、事前のヒアリングやアドバイスが適切だったかどうか疑問が残る。危機管理室と各班の職員の意識が共有できていなかったと感じている。危機管理室と各班の職員との事後の反省を部長会で共有していただきたい。

(危機管理室長) 担当者同士が協議する場を設けていきたいと考えている。

(総合政策部長) 災害対応の経験がない職員も多くいる中で、防災訓練だけでは不十分なので平時に学習す

る機会が必要だと感じている。

3 閉 会